



梅雨明けまではもう少しでしょうか。例年に比べると暑さや湿気がそこまでないのかな？と感じますが、今年も酷暑の夏になりそうですね💦子どもたちは沐浴が始まり、まだまだ慣れないことから泣いている子も多いですが、沐浴後はサッパリして気持ちよさそう✨今月からは水遊びも始まるので、そちらもお楽しみに!!

今月は子どもの成長した姿を通して感じた日々の保育の積み重ねをお伝えしたいと思います(*^^*)

◇日々の積み重ねの大切さ ~1に成長、2に成長、3に成長!!~

「目を見て伝える」「反応を待つ」ことを日々の保育で大切にして3ヵ月が経ち、子どもたちの姿にも成長(変化)が見られるようになってきました。

4月当初、鼻水を拭かれることが嫌で嫌で仕方なかった A くん。鼻水を拭かれる度に大泣きで抵抗していたのですが、保育者が毎回「鼻水が出ているから拭いてもいい?」「鼻水を拭いてきれいになると気持ちいいよ」と声を掛け、A くんは反応を待ってから拭くようにしていました。5月頃までは抵抗していることが多かったのですが、次第にそこまで嫌がることが減ってきました。そしてあるとき、いつものように「鼻水出ているから拭こうか」と声を掛けると、A くん自ら保育者が持っているティッシュに鼻を差し出すではありませんか!!

このときは思わずガッツポーズをしてしまいました笑

もう一つ子どもの成長を実感した場面があります。

午睡の場面で寝ていた B くんが急に泣いて起きました。しばらく横になりながら泣いている B くんは保育者が側で声を掛けていたのですが、なかなか泣き止みません。抱っこをすると次第に泣き止んで落ち着きましたが、布団に入ることは最初嫌がっていました。このときに「もう少し抱っこする?それとも布団で寝てみる?」と声を掛けると最初は首を横に振っていた B くんが、少しすると布団を指差し始めました。そのときに「じゃあ布団にゴロンって、してみようか」と伝え、泣かずに静かに横になりました。

どちらの場面も大人の視点から考えれば、ササッと鼻を拭けば早く済みますし、ずっと抱っこをしていれば、腕の中で静かにしているかもしれません。ただそこで大切にしたいのは「子どもの視点」です。

鼻を拭かれるなら事前に声を掛けてもらいたいし、抱っこをするか、布団に入るかは自分で決める為にも聞いてほしいということは、一人の人として当たり前の感情ではないでしょうか。

この2つの場面での子どもの成長(変化)を通して、「目を見て伝える」「反応を待つ」ことの大切さを改めて実感することができました。日々の中で様々な成長した姿を見せてくれる子どもたち。ずりばいが上手になった、つかまり立ちができるようになった、一人で立てるようになったなどの身体的な成長はもちろん、今回のお便りで載せたような成長をご家庭でも実感してもらえると、クラスとしても、とても嬉しいです。そんな場面がありましたら、送迎時や連絡帳でぜひお知らせください!!

※今月号は字ばかりで写真掲載がなくてごめんなさい💦伝えたいことが溢れました笑